

POWERED BY **Dialog**

Database system - employs data sorting method that display input items on screen arranged according to priority of input data

Patent Assignee: KYOKUTO KAIHATSU KOGYO KK

Patent Family

Patent Number	Kind	Date	Application Number	Kind	Date	Week	Type
JP 7248896	A	19950926	JP 9438070	A	19940309	199549	B

Priority Applications (Number Kind Date): JP 9438070 A (19940309)

Patent Details

Patent	Kind	Language	Page	Main IPC	Filing Notes
JP 7248896	A		9	G06F-007/24	

Abstract:

JP 7248896 A

The data base system comprises a CPU (4), a RAM (6), a CRT display screen (8), a recording device (10), a keyboard (12) for input, a printer (14) and a mouse (16). The system has a record of display items. A display field on the display screen is selected with the mouse.

The display order of each item is specified by a numerical character input through the key board. The item is not displayed if the numerical character corresponding to it is not given as input. Each record is sorted by giving high priority to item that is input first. The display beam of each item is given input to the screen and are displayed.

ADVANTAGE - Provides easy sorting of data and flexibility in operation as item name of input object is provided. Improves operativity by providing display field to display item by data table sorting. Specifies output order of display of object item.

Dwg.1/10

F3 表示フォーマット選択 Help

一時確定 保存確定 キャンセル

リストNo. ☐ フォーマット引当

タイトル

◆計画 ☐出荷 ☐受入 ☐その他
◇実績 ☐開出度 ☐完了

項目名	表示順	表示桁	ソート順	表示項目名
品目No.	1	10	2A	品目No.
ECレベル	2	5		EC
開始予定日				
完了予定日	5	10	1A	出庫予定
完了実績日				
発生源	6	5		親品目No.
MRPN.	7	10		MRPN.
所要量タイプ				
出庫タイプ	8	4		出夕
入出庫コード				
分類コード	9	4		分類
計画コード				
ユーザコード				
オーダーNo.				
指示先				
計画数(出)	3	10		所要数量
実績数(出)	4	10		使用済量

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-248896

(43) 公開日 平成7年(1995)9月26日

(51) Int.Cl.⁶ 識別記号 庁内整理番号 F I 技術表示箇所
G 0 6 F 7/24 A
12/00 5 1 5 M 7608-5B
17/30
9194-5L G 0 6 F 15/ 403 3 8 0 D

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平6-38070

(22) 出願日 平成6年(1994)3月9日

(71) 出願人 000163095

極東開発工業株式会社

兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

(72) 発明者 岩崎 弦二

兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 極

東開発工業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 古谷 栄男 (外2名)

(54) 【発明の名称】 データベースシステムおよびデータソート・出力方法

(57) 【要約】

【目的】 ソート方法や出力方法を、容易に指定することができ、さらにその変更も容易であるようなデータベースシステムを提供することを目的とする。

【構成】 表示フォーマット選択画面において、マウス16によって、「計画」および「出庫」のチェックボックスを選択する。次に、各項目の表示（印字）順序を選択する。各項目の表示順序は、表示順の欄に、キーボード12から数字を入力することによって指定する。また、表示を望まない項目については、数字を入力しない。次に、「表示桁」の欄に、これら各項目の表示桁を入力する。さらに、「ソート順」の欄（優先度表示欄）において、ソートの方法を指定する。上記のように表示フォーマット選択画面において、表示の方法、ソートの方法を一度にかつ容易に指定することができる。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】複数の項目、レコードを有するデータベースにおいて、

各項目に対応して入力された出力方法を表示するための出力方法表示欄と、各項目に対応して入力されたソート優先度を表示するためのソート優先度表示欄を備えた表示画面を用意するとともに、

入力されたソート優先度の高い項目から優先して各レコードをソートするとともに、入力された出力方法にしたがって、各項目を配列して、出力するようにしたこと、

を特徴とするデータソート・出力方法。

【請求項 2】2以上のデータテーブルを有するデータベースにおける、データソート・出力を指示するための表示画面において、

処理対象として選択されたデータテーブルを表示するための対象テーブル表示欄、

各共通項目名に対して入力された出力方法を表示するための出力方法表示欄、

を備えており、さらに該出力方法表示欄は、複数のデータテーブルに共通した性質を有する項目を、共通した共通項目名として表示する共通項目名表示欄を有していること、

を特徴とするデータベースにおける表示画面。

【請求項 3】2以上のデータテーブルを有するデータベースにおいて、

処理対象となるデータテーブル名を入力するための対象テーブル入力手段、

出力対象となる項目が、複数のデータテーブルに共通した性質を有する項目である場合には共通項目名を選択し、複数のデータテーブルに共通した性質を有しない項目である場合にはその項目名を選択するための対象項目

選択手段、

各対象項目に対して出力桁を入力するための出力桁入力手段、

対象テーブル入力手段から入力されたデータテーブル名と対象項目選択手段で選択された項目名と出力桁入力手段から入力された出力桁とに基づいて、処理対象のデータテーブルの対象項目の出力内容を決定する決定手段、

決定手段の出力に基づいて、出力を行なう出力手段、

を備えたデータベースシステム。

【請求項 4】請求項 3 のデータベースシステムにおいて、

各レコードのソートを行う際に、各項目をソートに用いるソート優先度を入力するためのソート優先度入力手段を備え、

前記決定手段は、ソート優先度に基づいて各レコードをソートして出力順序も決定すること、

を特徴とするデータベースシステム。

【請求項 5】請求項 3 または 4 のデータベースシステムにおいて、

対象項目を出力する際の出力順序を入力する出力順序入力手段を備え、

前記決定手段は、該出力順序にしたがって対象項目のデータを出力することを特徴とするデータベースシステム。

【請求項 6】請求項 3、4 または 5 のデータベースシステムにおいて、

対象項目を出力する際の出力項目名を入力する出力項目名入力手段を備え、

前記決定手段は、対象項目の項目名を出力項目名として出力することを特徴とするデータベースシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明はデータベースシステムに関し、特にそのデータ出力に関するものである。

【0002】

【従来の技術】データベースによって蓄積されたデータは、ディスプレイやプリンタに出力されることによって利用される場合が多い。このような出力の際には、各項目を全て表示するのではなく、利用目的に応じて必要な項目のみを所望の桁数で表示するのが一般的である。また、利用目的に応じて、各レコードをソートして並び変えた後、出力することも多かった。

【0003】たとえば、必要な項目を、項目の内容によって並び変えて出力する場合には、ソートの方法などを指令してソートを行った後、出力の方法を指令してデータを出力するようにしている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記のような従来のデータベースシステムには、次のような問題点があった。

【0005】ソートの方法はデータベースの利用目的により異なるので、利用目的ごとにその指令（プログラム等）を作成しなければならず、煩雑であった。また、一旦作成した指令の変更は、困難であり、状況に応じてソートの方法を変更することが容易ではなかった。

【0006】同様に、出力方法についても、利用目的ごとにその指令（プログラム等）を作成しなければならず、煩雑であった。また、一旦作成した指令の変更は、困難であり、状況に応じて出力の方法を変更することが容易ではなかった。

【0007】この発明は、上記のような問題点を解決して、ソート方法や出力方法を、容易に指定することができ、さらにその変更も容易であるようなデータベースシステムを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】請求項 1 のデータソート・出力方法は、各項目に対応して入力された出力方法を表示するための出力方法表示欄と、各項目に対応して入力されたソート優先度を表示するためのソート優先度表

示欄を備えた表示画面を用意するとともに、入力されたソート優先度の高い項目から優先して各レコードをソートするとともに、入力された出力方法にしたがって、各項目を配列して、出力するようにしたこと、を特徴としている。

【0009】請求項2のデータソート・出力を指示するための表示画面は、処理対象として選択されたデータテーブルを表示するための対象テーブル表示欄、各共通項目名に対して入力された出力方法を表示するための出力方法表示欄を備えており、さらに、該出力方法表示欄は、複数のデータテーブルに共通した性質を有する項目を、共通した共通項目名として表示する共通項目名表示欄を有していることを特徴としている。

【0010】請求項3のデータベースシステムは、処理対象となるデータテーブル名を入力するための対象テーブル入力手段、出力対象となる項目が、複数のデータテーブルに共通した性質を有する項目である場合には共通項目名を選択し、複数のデータテーブルに共通した性質を有しない項目である場合にはその項目名を選択するための対象項目選択手段、各対象項目に対して出力桁を入力するための出力桁入力手段、対象テーブル入力手段から入力されたデータテーブル名と対象項目選択手段で選択された項目名と出力桁入力手段から入力された出力桁とに基づいて、処理対象のデータテーブルの対象項目の出力内容を決定する決定手段、決定手段の出力に基づいて、出力を行なう出力手段を備えたことを特徴としている。

【0011】請求項4のデータベースシステムは、請求項3において、各レコードのソートを行う際に、各項目をソートに用いるソート優先度を入力するためのソート優先度入力手段を備え、前記決定手段がソート優先度に基づいて各レコードをソートして出力順序も決定することを特徴としている。

【0012】請求項5のデータベースシステムは、請求項3または4において、対象項目を出力する際の出力順序を入力する出力順序入力手段を備え、前記決定手段が該出力順序にしたがって対象項目のデータを出力することを特徴としている。

【0013】請求項6のデータベースシステムは、請求項3、4または5において、対象項目を出力する際の出力項目名を入力する出力項目名入力手段を備え、前記決定手段が対象項目の項目名を出力項目名として出力することを特徴としている。

【0014】

【作用】請求項1のデータソート・出力方法においては、表示画面に出力方法とソート優先度の表示欄を備えており、両者に基づいて出力データが選択・生成される。したがって、表示画面によって、ソートと出力方法を容易に設定・変更することができる。

【0015】請求項2の表示画面は、出力方法表示欄

に、複数のデータテーブルに共通した性質を有する項目を、共通した共通項目名として表示する共通項目名表示欄を有している。したがって、データテーブルや全項目数が多い場合でも、表示に必要な領域の増加を抑えることができる。

【0016】請求項3のデータベースシステムは、処理対象となるデータテーブル名を入力するための対象テーブル入力手段と、出力対象となる項目が、複数のデータテーブルに共通した性質を有する項目である場合には共通項目名を選択する対象項目選択手段を備えている。したがって、データテーブルや全項目数が多い場合でも、対象項目の選択が容易である。

【0017】請求項4のデータベースシステムは、請求項3において、各レコードのソートを行う際に、各項目をソートに用いるソート優先度を入力するためのソート優先度入力手段を備え、前記決定手段がソート優先度に基づいて各レコードをソートして出力順序も決定することを特徴としている。したがって、出力方法だけでなく、ソート方法についてもあわせて指定することができる。

【0018】請求項5のデータベースシステムは、請求項3または4において、対象項目を出力する際の出力順序を入力する出力順序入力手段を備え、前記決定手段が該出力順序にしたがって対象項目のデータを出力することを特徴としている。したがって、対象項目の出力順序もあわせて指定することができる。

【0019】請求項6のデータベースシステムは、請求項3、4または5において、対象項目を出力する際の出力項目名を入力する出力項目名入力手段を備え、前記決定手段が対象項目の項目名を出力項目名として出力することを特徴としている。したがって、目的に応じて、項目名を変更して出力することができる。

【0020】

【実施例】図2にこの発明の一実施例によるデータベースシステムのハードウェア構成を示す。この実施例では、工程管理のためのデータベースを例として説明する。バスライン2には、CPU4、RAM6、CRT8、記憶装置10、キーボード12、プリンタ14、マウス16が接続されている。この実施例では、CRT8、プリンタ14によって、出力手段が構成されている。表示のみを行う場合はCRT8を出力手段としてもよく、印字のみを行う場合にはプリンタ14のみを出力手段としてもよい。

【0021】ハードディスク等から構成される記憶装置10には、データベースシステムのためのプログラムと、データテーブルが記憶されている。この実施例では、データテーブルとして、所要量テーブル、オーダテーブル、履歴テーブルが記憶されている。これらのテーブルの内、所要量テーブルを図4に、オーダテーブルを

【0022】図4に示す所要量テーブルとは、部品もしくは完成品の必要量と必要日をテーブルにしたものである。図中、発生源とは、当該部品が組み込まれる親部品を示している。品目が部品である場合には、社内において、完成品の組み立てのために用いられるので「出庫」として扱われ、品目が完成品である場合には、客先に向けて送り出されるので、「出荷」として扱われる。なお、計画数量は「所要数量」として表され、実績数量は「使用済量」として表されている。

【0023】図5に示すオーダーテーブルとは、所要量テーブルと履歴テーブル（在庫テーブル）に基づいて、生産量もしくは購入量（計画数量）等をテーブルにしたものである。品目が社内で生産されるものであれば「完成」として扱われ、品目が外部からの購入品であれば「受入」として扱われる。なお、計画数量は「計画数量」として表され、実績数量は「完成済数」（図示せず）として表されている。

【0024】たとえば、所要量テーブルのデータに基づいて、出庫の計画を、完了実績日順に、品目順に並べて（ソートして）印刷したい場合には、次のようにする。この実施例では、図1に示すような、表示フォーマット選択画面（表示画面）が用意されており、CRT8に表示される。マウス16によって、「計画」および「出庫」のチェックボックスを選択する。図においては、黒くぬりつぶされて、選択されたことが示されている。この実施例では、「出荷」「出庫」「受入」「完了」のチェックボックスにより、対象テーブル入力手段が構成されている。

【0025】次に、各項目の表示（印字）順序を選択する。ただし、この項目名は、共通項目名で表されている。たとえば、「必要日」は、オーダーテーブルの「完了予定日」と共通する性質を有しているので、この画面では「完了予定日」として表示されている。各テーブルの項目名と共通項目名との関係を、図10に示す。このように、共通項目名を用いることにより、表示フォーマット選択画面を小さく、かつ分かりやすくまとめることができる。各項目の表示順序は、表示順の欄に、キーボード12から数字を入力することによって指定する。また、表示を望まない項目については、数字を入力しない。ここでは、「品目No.」「ECレベル」「計画数（出）」「実績数（出）」「完了予定日」「発生源」「MRPN.」「出庫タイプ」「分類コード」の順に表示が行われるように数字を入力した。この実施例においては、「表示欄」によって対象項目名選択手段、出力順序入力手段を構成した。次に、出力桁入力手段である「表示桁」の欄に、これら各項目の表示桁を入力する。

【0026】さらに、ソート優先度入力手段である「ソート順」の欄（優先度表示欄）において、ソートの方法を指定する。この実施例では、数字によってソートの優先度を示し、これに続くアルファベットによってソート

の仕方を指定している。たとえば、「1A」であれば、ソート優先度が最も高く、小さい順（昇順）にソートすることを示している。「2D」であれば、ソート優先度が2番目であり、大きい順（降順）にソートすることを示している。また、ソート順の欄に入力されていない項目は、ソートのキーとしない。図1の例では、まず、完了予定日によって昇順でソートし、同一の完了予定日のレコードが2以上ある場合には、品目によって昇順でソートするように指定されている。

【0027】出力項目名入力手段である「表示項目名」の欄は、表示（印字）をする際の項目名を入力する欄である。省略した場合には、共通項目名が表示（印字）される。共通項目名を表示（印字）しない場合には、この欄に入力する。これにより、表示（印字）の際の見やすさを向上させることができる。

【0028】上記のような入力に対して、CPU4の行う処理を、模式化して示すと図3に示ようになる。また、これをフローチャートで示すと、図6のようになる。まず、図6のステップS1において、対象となるデータテーブルから、記憶装置10に形成した作業用領域（データ構造体の実データ保存領域）にデータを取り込む。ここでは、図1において「出庫」が選択されているので、所要量テーブルが対象となる。同様に、「出荷」が選択された場合も所要量テーブルが対象となる。一方、「受入」「完了」が選択された場合には、オーダーテーブルが対象となる。

【0029】次に、既存のフォーマット情報を使用するか否かを検討する（ステップS2）。既に作成され記憶されているフォーマットを使用する場合には、記憶装置10から、その表示フォーマット構造体、ソート情報構造体を読み出す（ステップS3）。ここでは、図1に示すフォーマットを新たに作成するので、ステップS4、S5に進む。ステップS4、S5では、図1の画面によって入力された入力フォーマット構造体から、表示の方法に関するデータ（表示フォーマット構造体）とソートの方法に関するデータ（ソート情報構造体）を抽出する。

【0030】次に、データ構造体の実データ保存領域にあるデータを、表示フォーマット構造体にしたがって、表示順、表示幅等を整える。その結果を、データ構造体の表示データ保存領域に記録する（ステップS6）。次に、データ構造体の表示データ保存領域にあるデータを、ソート情報構造体にしたがって、ソートを行う。その結果を、データ構造体のソートデータ保存領域に記録する（ステップS7）。このようにして、ソートされ、表示形式の整えられたデータを、順次、CRT8（もしくはプリンタ14）に出力する（ステップS8～S10）。なお、表示フォーマットを記憶しておけば、次回、同じフォーマットを使用するときにファイル名を入力するだけでよいので簡便である（ステップS2、S3

参照)。

【0031】上記の結果、出力されたものを、図7に示す。項目名の表示部分50には、図1の「表示項目名」で指定した項目名が表示されている。また、この項目名は、左から順に「表示順」で指定した順に並べられている。レコード内容表示部分52には、対象データテーブルの各レコードが、「ソート順」で指定された順でソートされて表示されている。その、表示幅は、「表示桁」で指定された桁数となっている。

【0032】上記のように、この実施例によれば、図1に示すような表示フォーマット選択画面を訂正するだけで、容易に表示(印字)の形式を変更することができる。また、あわせて、ソートの方法も同時に指定することもでき、その変更も容易である。

【0033】生産計画について、図8に示すようなフォーマット選択を指示した場合には、図9のような結果が得られる。図1の場合には、所要量テーブルが対象となったが、この場合には、オーダーテーブルが対象となる。ただし、表示フォーマット選択の画面は同じである。このように、表示フォーマット選択の画面を共通化することにより、操作感覚を統一し操作性を向上させている。

【0034】上記実施例では、本発明を生産管理に適用したが、部品管理等一般的なデータベースに適用することができる。

【0035】

【発明の効果】請求項1のデータソート・出力方法においては、表示画面に出力方法とソート優先度の表示欄を備えており、両者に基づいて出力データが選択・生成される。したがって、表示画面によって、ソートと出力方法を容易に設定・変更することができ、出力における柔軟性の高いデータソート・出力方法を提供することができる。

【0036】請求項2の表示画面は、出力方法表示欄に、複数のデータテーブルに共通した性質を有する項目を、共通した共通項目名として表示する共通項目名表示欄を有している。したがって、データテーブルや全項目数が多い場合でも、表示に必要な領域の増加を抑えることができ、操作性のよいシステムを構築することができる。

【0037】請求項3のデータベースシステムは、処理対象となるデータテーブル名を入力するための対象テーブル入力手段と、出力対象となる項目が、複数のデータテーブルに共通した性質を有する項目である場合には共通項目名を選択する対象項目選択手段を備えている。したがって、データテーブルや全項目数が多い場合でも、対象項目の選択が容易であり、操作性の良いデータベースシステムを提供することができる。

【0038】請求項4のデータベースシステムは、請求

項3において、各レコードのソートを行う際に、各項目をソートに用いるソート優先度を入力するためのソート優先度入力手段を備え、前記決定手段がソート優先度に基づいて各レコードをソートして出力順序も決定することを特徴としている。したがって、出力方法だけでなく、ソート方法についてもあわせて指定することができる。

【0039】請求項5のデータベースシステムは、請求項3または4において、対象項目を出力する際の出力順序を入力する出力順序入力手段を備え、前記決定手段が該出力順序にしたがって対象項目のデータを出力することを特徴としている。したがって、対象項目の出力順序もあわせて指定することができる。

【0040】請求項6のデータベースシステムは、請求項3、4または5において、対象項目を出力する際の出力項目名を入力する出力項目名入力手段を備え、前記決定手段が対象項目の項目名を出力項目名として出力することを特徴としている。したがって、目的に応じて、項目名を変更して出力することができ、出力の柔軟性を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例によるデータベースシステムの表示フォーマット選択画面を示す図である。

【図2】この発明の一実施例によるデータベースシステムのハードウェア構成を示す図である。

【図3】CPU4の処理に伴うデータの流れを模式的に表した図である。

【図4】所要量テーブルの内容の一例を示す図である。

【図5】オーダーテーブルの内容の一例を示す図である。

【図6】CPU4の処理内容を示すフローチャートである。

【図7】図1の表示フォーマット選択画面に対応する出力を示す図である。

【図8】他の表示フォーマット選択画面の例を示す図である。

【図9】図8の表示フォーマット選択画面に対応する出力を示す図である。

【図10】共通項目と各テーブルの項目との関係を示す図である。

【符号の説明】

4・・・CPU

6・・・RAM

8・・・CRT

10・・・記録装置

12・・・キーボード

14・・・プリンタ

16・・・マウス

【図1】

F3 表示フォーマット選択 Help

一時確定 保存確定 キャンセル

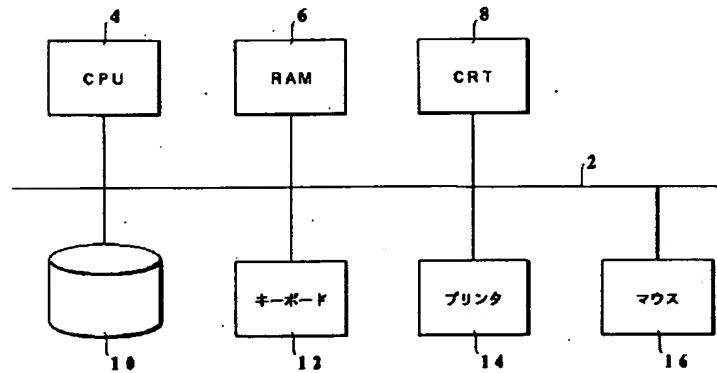
リストNo. ☐ フォーマット引当

タイトル

◆計画 ☐ 出荷 ☐ 受入 ☐ その他
◇実績 ☐ 出庫 ☐ 完了

項目名	表示順	表示桁	ソート順	表示項目名
品目No.	1	10	2A	品目No.
ECレベル	2	5		EC
開始予定日				出庫予定
完了予定日	5	10	1A	
完了実績日				部品目No.
発生源	6	6		MRPN.
MRPN.	7	10		出タ
所要量タイプ				分類
出庫タイプ	8	4		
入出庫コード				
分類コード	9	4		
計画コード				
ユーザコード				
オーダNo.				
指示先				
計画数(出)	9	10		所要数量
実績数(出)	4	10		使用消費

【図2】

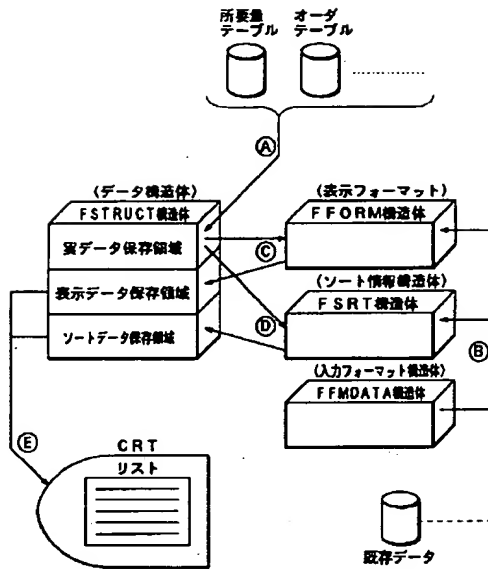


【図4】

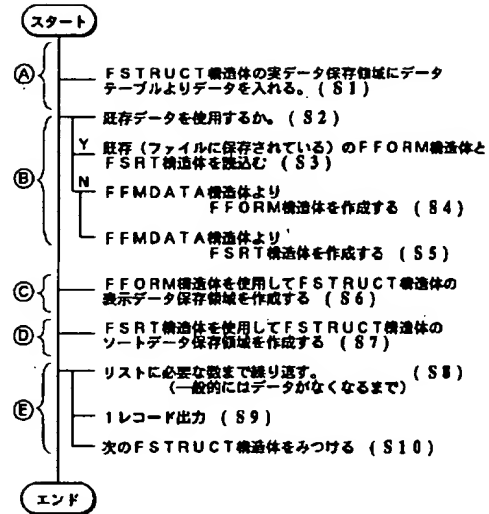
所要量テーブル

品目No.	ECレベル	品目略称	必要日	発生源	所要量タイプ	出庫タイプ	所要数量	使用消費
22		部品-22	93/11/01	VW		A	...	50
47		部品-47	93/11/01	VW		A	...	50
16		部品-16	93/11/01	VQ		A	...	50
85		部品-85	93/11/01	VK		A	...	50
ZA10		部品-0	93/11/01	00		A	...	50
ZA11		部品-1	93/11/01	10		A	...	50
13		部品-13	93/11/01	VN		A	...	50
04		部品-04	93/11/01	VE		A	...	50

【図3】



【図6】



【図5】

オーダーテーブル

品目No.	ECレベル	品目略称	開始予定日	完了予定日	入庫コード	オーダータイプ	オーダータイプ	計画数量
VV		製品-VV	10/29	11/01	R	M	DEMO-VV5	
VX		製品-VX	10/29	11/01	R	M	DEMO-Vx4	
VY		製品-VY	10/29	11/01	R	M	DEMO-VY5	
ZA10		材料-0	10/25	11/01	R	P		
ZA11		材料-1	10/25	11/01	R	P		
ZA13		材料-3	10/25	11/01	R	P		
ZA14		材料-4	10/25	11/01	R	P		
ZA15		材料-5	10/25	11/01	R	P		

【図10】

共通項目名	所要量テーブル 項目名	オーダーテーブル 項目名	原価テーブル 項目名
品目No.	品目No.	品目No.	品目No.
ECレベル	ECレベル	ECレベル	ECレベル
開始予定日		開始予定日	開始予定日
完了予定日	必要日	完了予定日	完了予定日
完了実績日			完了実績日
発生原	発生原		発生原
所要量タイプ	所要量タイプ		
出庫タイプ	出庫タイプ		出庫タイプ

【図7】

***** ((計画・実績検索)) *****

[リストNo.: 4, タイトル: 出庫計画 確認リスト:] [計画]: [出庫]

品目No.: 指示先: オーダNo.:
 開始日: ~ 保管場所: 発注担当:
 完了日: 1993/11/01 ~ 1993/11/09

品目No.	EC	所要数量	使用済数	出庫予定	製品目No.	MRP No.	出夕	分類
01		50	0	93/11/01	VB	3042144	A	M
04		50	0	93/11/01	VE	3042144	A	M
07		50	0	93/11/01	VH	3042144	A	M
10		50	0	93/11/01	VK	3042144	A	M
13		50	0	93/11/01	VN	3042144	A	M
16		50	0	93/11/01	VQ	3042144	A	M
19		50	0	93/11/01	VT	3042144	A	M
22		50	0	93/11/01	VW	3042144	A	M
26		50	0	93/11/01	VB	3042144	A	M
29		50	0	93/11/01	VE	3042144	A	M
32		50	0	93/11/01	VH	3042144	A	M
36		50	0	93/11/01	VK	3042144	A	M
38		50	0	93/11/01	VN	3042144	A	M
41		50	0	93/11/01	VQ	3042144	A	M
44		50	0	93/11/01	VT	3042144	A	M
47		50	0	93/11/01	VW	3042144	A	M
ZA10		30	0	93/11/01	00	3042144	A	M
ZA10		50	0	93/11/01	10	3042144	A	M

【図8】

F3 表示フォーマット選択 Help

一時確定 保存確定 キャンセル

リストNo. ☐ フォーマット引当 ☒ ◆計画 ☐ 出荷 ☐ 受入 ☐ その他
 タイトル ◇実績 ☐ 出庫 ☐ 完了

項目名	表示順	表示桁	ソート順	表示項目名
品目No.	1	10	2A	品目No.
ECレベル	2	8		EC
開始予定日				
完了予定日	3	9	1A	完了予定
完了実績日				
発注日				
MRP No.				
所要量タイプ				
出庫タイプ				
入庫コード	5	4		入出
分類コード	6	4		オーダータイプ
計画コード				
ユーザコード				
オーダーNo.	4	9		
指示先				

【図9】

***** (計画・実績検索) *****

[リストNo. : 5, タイトル: 製造計画 確認リスト:]

] [計画]: [完成]

品目No. : 指示先 :

オーダーNo. :

開始日 : ~ 保管場所 :

発注担当 :

- 完了日 : 1993/11/01 ~ 1993/11/09 -

品目No.	EC	完成予定	オーダーNo.	入出	オーダータイプ
VA		93/11/01	DEMO-VA5	R	C
VC		93/11/01	DEMO-VC4	R	C
VD		93/11/01	DEMO-VD5	R	C
VF		93/11/01	DEMO-VF4	R	C
VG		93/11/01	DEMO-VG5	R	C
VI		93/11/01	DEMO-VI4	R	C
VJ		93/11/01	DEMO-VJ5	R	C
VL		93/11/01	DEMO-VL4	R	C
VM		93/11/01	DEMO-VM5	R	C
VO		93/11/01	DEMO-VO4	R	C
VP		93/11/01	DEMO-VP5	R	C
VR		93/11/01	DEMO-VR5	R	C
VS		93/11/01	DEMO-VS5	R	C
VU		93/11/01	DEMO-VU4	R	C
VV		93/11/01	DEMO-VV5	R	C
VX		93/11/01	DEMO-VX4	R	C
VY		93/11/01	DEMO-VY5	R	C
VB		93/11/02	DEMO-VB5	R	C

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☐ **FADED TEXT OR DRAWING**

☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.